

# 令和2年度北栄町高校生議会会議録

令和3年1月14日（木曜日）

## 議事日程

令和3年1月14日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

## 出席議員（20名）

1番 山根愛莉君	1番 太田陸君	2番 安藤有摩君
3番 平岩優君	4番 佐藤万弦君	4番 松浦舞那君
5番 山谷結香君	5番 山根菜緒君	6番 長田聖矢君
7番 福永優君	7番 丸山智子君	8番 川原那央君
8番 佐古悟乃亮君	9番 前田愛菜君	10番 磯江裕行君
11番 兼光莉鈴君	12番 堀本光雪君	13番 濱川虎壺君
14番 西村武蔵君	14番 影井航世君	

## 欠席議員（なし）

## 議長（1名）

議長 北中佑介君

## 北栄町議会事務局出席職員職氏名

事務局長 ..... 大庭由美子君 主幹 ..... 福田香織君  
事務補佐員 ..... 長谷川利恵君

## 説明のため出席した者の職氏名

町長 .....	松本昭夫君	教育長 .....	別本勝美君
総務課長 .....	磯江昭徳君	企画財政課長 .....	小澤靖君
福祉課長 .....	田中英伸君	産業振興課長 .....	手嶋寿征君
観光交流課長 .....	松本裕実君	環境エネルギー課長 .....	藤江純子君
教育総務課長 .....	中原浩二君	生涯学習課長 .....	杉本裕史君

---

## 午前9時20分 高校生議会開会式

○事務局長（大庭 由美子君） それでは時間になりましたので、高校生議会の開会式を行います。

初めに、北栄町議会議長 前田栄治が御挨拶いたします。

### 北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（前田 栄治君） 皆さんおはようございます。高校生議会が開催されるに当たり一言挨拶を申し上げます。高校生議員の皆さんは、昨年から続くコロナ禍により、「地域探究の時間」の取組時間が少なかったと聞いておりますが、その中でも成果を十分に発揮されますことを期待しております。鳥取中央育英高校の地域探究の取組は、少子高齢化を迎える時代にあって若い人たちの意見を取り入れることができる、北栄町にとっても有意義で非常に大きな取組であり、今後も継続をしていっていただくことを望んでいます。私もこの議場では、町長、教育長に質問するときにはいつも緊張しております。ほかの議員もかなり緊張しておりますので、高校生の皆さんに緊張しないでくださいということは無理かもしれませんが、自分たちに与えられた時間です。ゆっくり町長、教育長に質問していただけたらと思います。先輩たちの質問により、役場と線路の間の通路に街灯ができたり、町の図書館の車庫がオープンギャラリイになったりという前例もあります。高校生議員の皆さんにも予算化・事業化されるような答弁を引き出していただけたらと思っています。最後になりますが、今日までに準備や御指導いただいた学校や行政、議会の関係者の方々にお礼を申し上げ、皆さんにとって有意義な1日となることを御祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

○事務局長（大庭 由美子君） 続きまして、松本昭夫 北栄町長が御挨拶いたします。

### 北栄町長あいさつ

○町長（松本 昭夫君） 皆さんおはようございます。そして、新年明けましておめでとうございます。今日は、今まで続いております高校生議会。皆さん方、先ほどありましたようにコロナ禍で大変だったと思いますが、地域探究をする中でいろいろな問題・課題を見つけられ、そしてまた、これを地域のためによくしたいということで質問を提案されました。14グループ、20名の方が15問の質問を今回されることになっております。大変ありがたく思っております。先ほどありましたように、皆さん方からいただいた中で、これはやらなければいけない、あるいはこれはやれたぞということもあるわけでありまして、ぜひ、そういういい提案をしていただいて、この地域が、そして皆さんの住んでいる地域が1つでもよくなるようにしていただきたいなと思っているところであります。

国の制度も変わりまして、18歳になりましたら皆さんにも投票権・選挙権が付与されることとなります。なかなかそういう世の中の流れ、あるいは身近な地域のこと等も分からないことがあるわけではありますが、地域を探究することによっていろいろなことを勉強する中で、こうしたらいいぞということで選挙権の行使をぜひしていただきたいなと思います。そういう意味で、こうやって議会を経験されるということは大変有意義なことだろうと思っております。世の中を変えるのに「よそ者・バカ者・若者」という3つの「者」がよく言われます。皆さんの柔軟で新鮮な若い力で、ぜひ地域を変える、そして世の中を変えるということになれば大変す

ばらしいことだと思っております。そしてこの議会が、その一助になればと思っておりますので、この議会を通して、今後のこともまた考えていただければと思います。

今日の議会に当たりまして、御尽力いただきました育英高校の先生方、そして本町の議員の皆さん、そして関係される皆さんに心から感謝と敬意を申し上げ、皆さんが今後ますます活躍されますことを願ひまして御挨拶に代えさせていただきます。楽しい、そして思い出に残る高校生議会にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○**事務局長（大庭 由美子君）** 最後に、鳥取中央育英高等学校 高垣知博校長に御挨拶をお願いします。

**鳥取中央育英高等学校長あいさつ**

○**校長（高垣 知博君）** 皆さんこんにちは。鳥取中央育英高校校長の高垣と言います。本年もどうかよろしく願いいたします。学校を代表しまして、一言御挨拶とお礼を述べさせていただきます。とうとう7回目を数えることができました、本日の高校生議会です。これはひとえに町長様、教育長様、それから前田議長をはじめとする議員の皆様、そして役場の職員の皆様のおかげであり、本当に2学期から本日まで様々な御指導、御鞭撻をいただき、また、先日の雪のための急遽の臨時休業に際しましても臨機の御対応をいただき本日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

先ほどから取り上げていただいております本校教育の特色の柱であります「地域探究の時間」ですが、7年前に結んでいただきました協約が礎となっています。この後月末に、今年度は残念ながらオンラインということですが、「地域創造ハイスクールサミット」が控えています。それを目前にしたこの高校生議会というものを、毎年この取組の集大成と考えて進めてまいっております。今年度はあいにくコロナ禍ということで、先ほど前田議長さんのお言葉にもありましたけども、フィールドワークの回数が少なかったり、できなったり、なかなか探究活動も思うように進めることができませんでした。またこの高校生議会についても、様々な面で例年どおりにはいかない面があったと聞いております。そんな中でも、本当に今日を迎えさせていただくことができたことに感謝しています。

先ほど町長さんのお話しにもありましたけども、選挙権年齢が18歳以上となりました。みんな自覚があるかどうか分からないですけれども、来年4月からは18歳で成年になるということになります。まさに、若いみんなにとっては激動の時代だと感じていますし、主権者教育の重要性をますます痛感しているところです。本当にこれまでもこの高校生議員の考え、意見をきちんと取り上げていただいたり、また丁寧に御検討いただいたりして、本当に皆さん主権者教育というどうしても投票といった行動に目が行きがちですが、有権者である自分たちの意見が実現していくということを身をもって体験させていただく、本当に主権者教育の大事な活動をさせていただいていると感謝しているところです。本来でしたら主権者教育は、私の考えですけども、まずは生徒会活動をきちんとすることだろうと考えているところです。この中にも、生徒会長をはじめ生徒会の主要メンバーもいますし、彼らが今まで以上に取組を進めてくれているところですけども、それに加えてこのような本物の民主主義の現場を体験できるということは非常にありがたいことでもあります。本当に、生徒たちがレベルアップしているのを教職員はもちろん生徒自身が実感しているところです。願わくば、ここに集まった生徒たちが卒業、あるいは進学後しっかり職を持って、まずは自らの人生を豊かにして、そしてできれ

ばその先に地域活性化の核となってくれ、さらには地方行政や地方議会に強い興味・関心を持ってその担い手になってくれたらと願わずにはられません。

以上、簡単ではありますが本日御支援いただきました皆様にとりましても、持続可能な北栄町、そして育英、さらには明るい日本を予感できるような時間になればと思いますので、どうか短い時間ですけれどもよろしくお願ひします。ありがとうございます。

○事務局長（大庭 由美子君） 以上で、開会式を終わります。

（報道機関の写真撮影等許可）

○事務局長（大庭 由美子君） それでは、これより高校生議会の本会議を始めます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（前田 栄治君） 高校生議会の開会に当たり、議長として、北中佑介議員を指名します。

---

### 午前 9 時 33 分開会

○議長（北中 佑介君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校 2 年の北中佑介です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆さんの御協力をよろしくお願ひします。

○議長（北中 佑介君） マスクをしていて声が聞き取りにくいので、発言をする際にははっきりと大きな声で発言するようお願ひします。

それでは会議を始めます。ただいまの出席議員は 21 人です。定足数に達していますので、これより令和 2 年度北栄町高校生議会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

---

### 日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（北中 佑介君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。高校生議会の会議録署名議員は、議長において、1 番、山根愛莉議員、太田陸議員を指名します。

---

### 日程第 2 会期の決定

○議長（北中 佑介君） 日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日 1 日としたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（北中 佑介君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日と決定しました。

---

### 日程第 3 諸般の報告

○議長（北中 佑介君） 日程第3、諸般の報告をします。

本会議の出席者は、お手元に配布した資料のとおりです。

---

#### 日程第4 一般質問

○議長（北中 佑介君） 日程第4、一般質問を行います。

届出順により順次質問を許します。

1番、山根愛莉議員、太田陸議員。

○議員（1番 山根 愛莉君、太田 陸君） 1番、山根愛莉です。太田陸です。

○議員（1番 山根 愛莉君） 私は、風力発電施設の更新について町長に質問します。

SDGs (7) に「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」というテーマがあり、「全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」というサブテーマが掲げられています。北栄町の風力発電はまさにぴったりではないでしょうか。全世界の進むべき方向の一步先を行っていると思います。

新聞によりますと、風力発電の更新に関わる議案が議会で否決されたと報道されました。町長及び担当部署の皆さんはどのようにお考えでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 山根議員、太田議員の御質問にお答えします。

風力発電施設の更新についての御質問です。

北栄町では、平成17年11月から9基の風車からなる北条砂丘風力発電所を運営しています。1基1,500キロワット、9基合わせて1万3,500キロワットの発電規模で、年間2,100万キロワットアワーを発電しています。これは一般家庭5,400世帯分に相当する電気を発電しており、北栄町の全世帯を賄う発電量となっています。また、CO<sub>2</sub>の削減量は年間約1万トンとなっており、地球温暖化防止に寄与しているところであります。

この風力発電事業は全く税金を使わず、建設時には国からの補助金と銀行から「起債」という借入れをして、あとは電力を販売したお金で運営してきました。その借入金も平成30年度に全て返済し、余剰金を基金として積立てをし、その額は令和元年度末には6億7,000万円となっています。また、多くの町民の皆様が親しまれ、「環境のまち北栄町」のシンボルにもなっています。平成25年度からは得られた収益の一部を「風のまちづくり事業」として毎年約5,000万円、総額で4億円以上を、防犯灯のLED化や家庭や自治会の太陽光発電設備の設置補助等に活用しています。このようなことから、議員仰せのとおり、SDGs (7) 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」のテーマに沿った取組であると思っています。

しかしながら、風車はそのまま末永く使い続けられるものではありません。大型の機械設備なので、年数がたてば老朽化したり故障が増えてきたりします。北栄町の風車も運転開始から丸15年となり、老朽化や故障による修繕費が多くなっていく心配が出てまいりました。

そこでFIT（固定価格買取制度）という制度、20年間同じ単価で売電できる国の制度を活用し、安定した風車の運営ができるようにと風車の更新を考えたところでした。ただ、陸上風車

の FIT の申請が令和 2 年度で終了予定であり、その申請期限までには十分な時間がなかったことから、詳しい更新に係る費用のシミュレーションなどをする前に、まずは FIT の認定申請を取ることを考えたところであります。町民代表や有識者による更新検討会においても、まずは FIT の認定を得た上で、環境への影響や採算性などを十分に調査・検討し、町民へ丁寧に説明していくことを条件に、風車の更新についての検討を続けていくことの答申をいただいたところ  
です。

ただ、このことについて議会議員の多くの皆さんから賛成が得られませんでした。議会議員の方の理解を得るためにはもう少し話し合う時間があればよかったのですが、FIT の申請締切りが迫っている中そうした時間がなかったこともあります。大変残念なことではありますが、FIT を活用しての風車の更新については白紙にするしかありません。町といたしましては、今の風車を現在の FIT 期限まであと 5 年間ありますので安全に運転管理し、その間、持続可能なエネルギー事業について今後の国の制度等勘案しながら、今後何ができるのか考えていきたいと思っていますところ  
です。

北栄町では、気候非常事態宣言をし、2050 年までにゼロカーボン、二酸化炭素排出ゼロを目指しています。国も、昨年同じく 2050 年までにゼロカーボンをと菅総理が国会で所信表明し、国会の衆参両院も気候非常事態宣言を行ったところ  
です。脱炭素化の社会の構築、地球温暖化の防止は喫緊の課題であります。皆さんと同年齢のスウェーデンの少女、グレタ・トゥーンベリさんの行動・言動が世界を大きく動かしたところ  
です。CO<sub>2</sub>をたくさん排出する化石燃料を利用して世界は繁栄し、我々はそれを享受してきました。しかしそれには地球環境を破壊した負の側面もありました。これから地球が、地球上のあらゆる生物が未来永劫持続するためには、全世界で脱炭素、地球温暖化を防止しなければなりません。それが、皆さんのような次世代を引き継ぐ方への我々としての責任であり、使命であると考えています。

CO<sub>2</sub>を排出しない風力を利用して電力を生む風車は、地球温暖化防止の一つのツールであります。風車に関心を持って質問していただき大変ありがたく思っています。皆さんがさきの議会の報道についてどんな思いを持ち、ゼロカーボンに向けて今後どうしたらよいか考え、そしてどうされていくのか楽しみにしています。また、よいアイデア等があれば町としても取り上げていきたいと思  
いますので、どうかよいアイデアを出していただければと思います。

○議長（北中 佑介君） 太田議員。

○議員（1 番 太田 陸君） 追及質問をさせていただきます。

風力発電による発電量は、町内の家庭で消費される電力を賄える量だと聞いています。ところが、この電気を電力会社に売電した収入は町の予算の中で使われていて、町民個々にそのメリットが実感できない状況にあります。

さらに、FIT 制度の固定価格買取期間が終了すると売電価格はかなりの低価格になり、北栄町自体が FIT 難民化し、そのメリットは町民まで届かなくなります。

これを防ぐ方法として、私たちは「北栄電力」を提案します。北栄電力とは、町内の再生可能エネルギーを利用して発電された電気を、低くなった FIT 価格より少しだけ高く買い取り、

電力会社より安い価格で町民に提供することで電気代という目に見える数字でメリットを町民に伝えることができます。これらの取組に賛同する町外の人たちが移住してくれば、雇用も確保でき税収アップなど町にとってもメリットが生まれます。「地域電力でまちおこし」 いかがですか。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） なかなか町民に見えなかったということですが、実は、町内の全防犯灯・街頭等は全て町費で LED 化しました。そして自治会が負担している電気代もこれでかなり安くなっているということもあります。それから、自治会で公民館に太陽光パネルを設置した補助であったり、あるいは個々に屋根に太陽光パネルを設置した方の補助であったり、あるいは今は省エネ住宅というのがありますがそういうものの助成とか、そういうことをしてきたところではありますが、なかなかそれが目につかなかったということだろうと思っています。

先ほどありました地域電力ということですが、実は今、北栄町を中心に湯梨浜町、琴浦町とともに、この地区で地域新電力をしていこうということで議論をしているところであります。太陽光発電であったり、あるいは水力発電であったり、そういう自然を利用した発電設備がありますので、そういうものを利用して新電力会社をつくっていこうと考えているところであります。その中には、3町だけではなく一般の企業の方も参画してやっていきたいというところもありますので、近いうちにそういう勉強会を立ち上げ、新電力会社をつくって、住民の皆さんにそういうクリーンエネルギーの電力を供給していこうと考えているところであります。その中で、やはり風力が大変大きな電力量を持っておりましたので、これがもしできないということになれば、そういう自然を使ったエネルギーが不足するという場合もあると思いますので、FITは駄目でしたが、またどういう形でできるかということを考えながら、新電力に寄与できるようなことも考えていきたいと思っています。

○議員（1番 太田 陸君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、山根議員、太田議員の一般質問を終わります。  
次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 2番、安藤有摩議員。

○議員（2番 安藤 有摩君） 2番、安藤有摩です。2つの質問を町長にします。

1つ目は、分かりやすい福祉サービスの一覧を作成しては、について。

自分たちが地域探究で調べたとき、福祉関係のサービスがすごくいっぱいあり驚いたので、それをみんなに分かりやすく伝えたいと思いました。北栄町内のそれぞれの事業所の内容、特色が分かるものを作成してはどうでしょうか。皆さんに知ってもらわなければならないと思います。

2つ目は、配膳サービスのお弁当に小中高生の便りをつけては、について。

このコロナ禍の生活で、退屈されていたり寂しく感じておられたりする人に元気になってもらうため、配膳サービスのお弁当に小中高生の手作りの便り、例えばこんな便りはどうでしょうか。「毎日寒い日が続きますがお元気ですか。今日のお弁当は北栄町産のブロッコリーが入っています。それではお元気でお過ごしください」などを挟んではどうでしょうか。

以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 安藤議員の御質問にお答えします。

初めに、分かりやすい福祉サービスの一覧を作成しては、の御質問です。

議員が調べられましたように、町内には在宅サービスや施設サービス等を行う、介護保険施設・介護保険サービス事業所等がたくさんございます。これらの事業所等の情報については、中部の市町や関係機関が協力をして、令和元年度、インターネット上に「鳥取県中部在宅医療・介護連携情報サイト」を開設しました。これにより、各市町にある医療機関や介護事業所などを誰でも簡単に探すことができるようになりました。ただ、このホームページで公開されております情報は基本的なものであり詳細なものではありません。詳細な内容につきましては、利用を希望される方が直接事業所等に問合せをしていただくようになっております。このたび議員から御提案のありました町内の事業所に限定したサービス内容・特色が分かるものの作成については、町民の方へのより丁寧なサービスということで、町内の事業所とのネットワーク会議において紹介させていただき、協議をしてみたいと考えております。

次に、配食サービスの弁当に小中高生の便りをつけては、についての御質問でございます。

議員のこの提案につきまして、食事サービスを実施しております北栄町社会福祉協議会に問合せをしたところ、とても喜ばれると思うのでお便りを持って来ていただければ喜んでお弁当と一緒に配達させてもらうとのことでした。また、お便りを書かれるときには大きな文字で書いてもらうと高齢者の方は読みやすいという助言もいただいたところです。とてもよい取組だと思いますので、小・中学生につきましては町教育委員会や小・中学校と協議を行っていきたいと考えております。また、高校生につきましても学校側に相談をさせていただきたいと考えておりますが、安藤議員のほうからも学校側に要望していただき、実現に向けて御協力をお願いしたいと思います。

○議員（2番 安藤 有摩君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、安藤議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 3番、平岩優議員。

○議員（3番 平岩 優君） 3番、平岩優です。私は、仏師の技術力を生かしたお土産を作ってはどうか、について教育長に質問します。

地域探究にて「身近な芸術」グループとして活動し、仏師の方の技術を目の前で見て感動しました。その技術力を生かしてお土産、例えば小さなコナンの彫刻物や、今年の干支である「うし」、北栄町のスイカのマスコットである「夏味ちゃん」など北栄町ならではのものを作ってみてはどうでしょうか。北栄町を代表する芸術だと思います。それによって北栄町の芸術家の方々のなりわいが増え、文化の継続につながるのではないのでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 平岩議員の御質問にお答えいたします。

仏師の技術力を生かしたお土産を作ってはどうか、についての御質問です。



地域探究で平岩議員が参加された「身近な芸術」グループを指導された仏巧舎代表の石賀義章さんは、松神で仕事をされており、20年を超える年月仏像彫刻職人として腕を磨かれ、仏像の制作、修復に日々励まれています。平岩議員がその技術に感動を覚え、仏像制作を地域の振興に生かせたらと御提案いただいたことは大変喜ばしく、地域探究の目的である地域に関心を持ち、郷土に愛着を持つ観点からいえば、しっかり勉強をしていただいたと大変うれしく思います。

また、石賀さんは11月に行った第16回北栄町美術展彫刻の部に出品され美術展賞に輝くなど地域でも活躍をされています。石賀さんの取組が町民の文化活動のよい刺激となり「文化の薫るまち 北栄町」がますますにぎわっていけばと考えています。町教育委員会といたしましても、今後も町美術展や北栄みらい伝承館の企画展など、文化活動を後押しする様々な施策を展開してまいります。

なお、お土産の制作等につきましては、芸術家の方々のなりわい・収入が増えるという点ではとてもよいことだと思いますが、まずは石賀さんの意向が第一でありますし、提案いただいたコナンの彫刻制作については町の判断だけで進めることはできません。御提案があったことは石賀さんにお伝えしたいと思います。

○議長（北中 佑介君） 平岩議員。

○議員（3番 平岩 優君） 追及質問をさせていただきます。

仏師の方が彫刻したお土産のコーナーの作成をし、仏師の技術力のPRをしてみたいかでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 提案をいただきました。仏師の方がどういう作品を作られているのかというところまで私ちょっと十分に承知しておりませんので、その辺伺いして、どういうことができるのかということをしっかり検討してまいりたいと思います。

○議員（3番 平岩 優君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、平岩議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 4番、佐藤万弦議員、松浦舞那議員。

○議員（4番 佐藤 万弦君、松浦 舞那君） 4番、佐藤万弦です。松浦舞那です。

○議員（4番 佐藤 万弦君） 僕たちは、使用されていないこども園、今後閉鎖されるこども園の活用方法は、について教育長に質問します。

少子化により、弓原という使っていないこども園が1園、2～3年の間に大谷というこども園が閉鎖の可能性があると聞きました。住民のために、公の施設なので有効活用したほうがよいと思います。その利用方法はどのように考えておられるのでしょうか。

こども園の跡地なのでそこに着目して、緊急時の児童の避難待機場所として、学童保育の施設として、子ども食堂などの子どもたちの居場所として活用してはどうでしょうか。そのほかお土産屋、食材店などに活用してはどうでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 佐藤議員、松浦議員の御質問にお答えします。

使用されていないこども園、今後閉鎖されるこども園の活用方法は、についての御質問です。

まず、使用されていないこども園の活用方法でございますが、現在、町内には廃園となった施設が2園ございます。この2園の施設は、施設を有効に活用して少しでも財源確保となるようにと貸出しを行っている旧東保育所と、貸出しを検討中の旧中央保育所でございます。

旧東保育所は一般社団法人に貸出しを行っており、障がい者就労移行支援・就労継続支援 A 型の多機能型福祉事業所として福祉事業を展開しております。

また、旧中央保育所は昨年9月以降空き施設となっておりますが、現在、福祉事業を行っている法人から放課後等デイサービス事業を行いたいので施設を貸してほしいという相談を受けており、貸出しに向けて調整を行っているところであります。

次に、今後閉園されるこども園の活用方法についてでございますが、現時点において、町立こども園4園で閉園が予定されている園はございません。

なお、先ほどの質問の中で、利活用例として緊急時の児童の避難待機場所、学童保育の施設、子ども食堂などの子どもの居場所としての活用を紹介していただきました。大変素晴らしい案だと思います。少子化が進んでいる中、将来、子育て世代となる高校生の皆さんがどのような施設があることを期待されているのか興味がございます。将来の北栄町にこのような施設があるとよい、こういった施設が必要というものがありましたら、改めて御提案いただければと思います。

高校生議員の皆さんには、少子化によりこども園の今後を心配していただいているところですが、北栄町といたしましても少子化に歯止めがかかるよう、そして少子化の中でも子育てしやすい環境を提供できるよう、これからも努めてまいりたいと考えております。

○議長（北中 佑介君） 松浦議員。

○議員（4番 松浦 舞那君） 先ほど提案させていただいた、緊急時の児童の避難待機場所としてや学童保育の施設として以外にも、空いたこども園にボールなどを置いて、1日親子で遊べるような場所をつくってみてはどうでしょうか。これなら、お金があまりかからなくて実現しやすいと思います。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 提案をいただいて本当に大変うれしく思います。ただ、現在町内にある廃園したこども園等については今空いている施設がないことと、既に学童保育であるとか、子ども食堂についてはほくほくプラザというところで「ほくほく食堂」というものを実施しています。そういう中で、ほかにもどうやったらできるのかということも考えてみたいと思います。

○議員（4番 松浦 舞那君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、佐藤議員、松浦議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 5番、山谷結香議員、山根菜緒議員。

○議員（5番 山谷 結香君、山根 菜緒君） 5番、山谷結香です。山根 菜緒です。

○議員（5番 山谷 結香君） 私は、ローカルメディアを利用した情報発信について町長に質問があります。

北栄町には、青山剛昌ふるさと館やオートキャンプ場などの観光施設があります。青山剛昌ふるさと館は貴重なものが飾ってあったり、ゲーム形式で子どもたちにも楽しんでもらえる施設です。また、ジェラート屋さんや新鮮な野菜が売ってあるなど、女性や大人でも楽しめます。

私たち「琴浦町の観光地情報発信グループ」では琴浦町の情報発信について調べてきましたが、地元のケーブルテレビや地元のメディアをもっと活用してもっとPRしてみてもうかがいましょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 山谷議員、山根議員の御質問にお答えいたします。

ローカルメディアを利用した情報発信についての御質問です。

ローカルメディアを利用した情報発信は、地元の方に情報発信をする上で、非常に有効で大切なことであると認識しております。

青山剛昌ふるさと館につきましては、イベントや特別展示などを行う際には、県内の新聞社やテレビ局で組織される倉吉記者クラブにイベントの概要など事前に情報提供を行い取材に来ていただくよう取り組んでおります。特にTCCにつきましては北栄町、湯梨浜町、琴浦町、3町のケーブルテレビ局でありますのでたくさん取材していただいております。

オートキャンプ場などの観光施設につきましては、イベント開催をしていくという施設ではありませんのでローカルメディアを活用する機会はあまりありませんが、県内をはじめ県外の方へのPRということで、町のホームページや施設の指定管理者のホームページ、また、町観光協会や県内の観光関連のホームページで施設概要が掲載されております。

また、本町の広報誌では青山剛昌ふるさと館のイベント情報を毎月掲載しておりますし、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど、SNSを活用した情報発信は、観光施設でのイベントはもちろんであります。町全体のイベントや事業を実施する場合には積極的に情報発信を行っております。あわせて、倉吉記者クラブとTCCにも情報提供を随時行っております。

その他、中部ふるさと広域連合が2か月に1回発行する「広域連合だより」にも、その都度イベント情報などの掲載を依頼し情報発信を行っているところです。もし、皆さんがこういうことでもう少し発信してはどうかということがありましたら、ぜひ御提供いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

○議長（北中 佑介君） 山根議員。

○議員（5番 山根 菜緒君） 追及質問をさせていただきます。

先ほども言われたように、北栄町には公式インスタグラムなどSNSがありますが、SNSを利用しているのは私たちのような学生や女性が多い傾向にあります。そこに視点を向けて、女性向けや学生向けのイベントを開催することで、そこからSNSで広がり話題になるとニュースに取り上げられ幅広い層に知ってもらえると思うので、女性向けや学生向けのイベントの開催をしてみてもうかがいましょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 大変よい御提案をいただきました。町としては、今までは町民全体にというような形で情報発信していたわけですが、そうやって特定の方、あるいはそういう方面

にしていくのも1つの方法だと思いますので、ぜひ参考にして取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございます。

○議員（5番 山根 菜緒君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、山谷議員、山根議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 6番、長田聖矢議員。

○議員（6番 長田 聖矢君） 6番、長田聖矢です。僕は、育英高校の生徒が作成した北栄町沿岸、身近で捕れた魚の図鑑を町内の小学校に配布し地域学習に利用してもらっては、について質問します。

今年度から地域探究の新グループとして「漁業」ができました。琴浦町をフィールドに活動しましたが、僕たちは魚・漁業に興味がありこのグループを選びました。

今年度はコロナの影響で十分に活動できませんでしたが、来年度以降、何年かかけて北栄町沿岸、身近で捕れた魚の図鑑の作成に取り組んではどうかと思っています。そうすることで、身近で捕れた魚が給食で出たときにどんな魚か分かりやすく興味が湧く、ありがたみを感じられる、興味が湧き後継者につながる、実際に見てみたいと思いい海に行ったりイベント参加者も増える、漁師の方々との交流が増える。

北栄町に協力してほしいこととしては、図鑑作成費用の補助、完成したら小学校・中学校・町の図書館に置いてもらう、漁業体験ができるようなイベントを企画し後継者の増加につなげる、小・中学校の給食に積極的に近海で捕れた魚を提供してはどうでしょうか。

以上について、町長、教育長にお伺いします。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 長田議員の御質問にお答えいたします。

育英高校の生徒が作成した北栄町沿岸、身近で獲れた魚の図鑑を、町内の小学校に配布し地域学習に利用してもらっては、との御質問でございます。

私からは、図鑑作成費用の補助、そして漁業体験ができるようなイベントの企画について答弁させていただきます。あとのものにつきましては教育長が答弁をいたします。

まず、お尋ねの図鑑作成費用の補助についてでございますが、内容をお聞きした上で、できる支援があればしていきたいと考えています。

次に、漁業体験できるようなイベントを企画し、後継者の増につなげることにつきましては、私もそういった企画ができれば楽しいと思っています。漁業につきましては、各地区に漁協があり、漁師さんはそれぞれの地区の漁協組合に属しています。農業で言えば、各農家が農協に属しており各地域にそれぞれの農協があるのと同じことです。農業と違うのは、農協は琴浦町も北栄町も同じ鳥取中央農協ですが、漁協は、琴浦町には赤碕町漁協がある一方で、北栄町には中部漁協があり、別個の団体となっている点です。このため、共同でイベントを行うとか、コラボを行うことは、それぞれの団体お互いに利益があり、お互いに同じ方向を向ける場合に初めて実現できる話だと思います。また、何分費用のかかることですし、他の産業とのバランスを考えても100%町がお金を出すこともできません。しかし、もし今後双方の団体が手を取

り合う機会があり、町からも力添えがほしいという要望があれば検討してみたいと思います。

ちなみに、北栄町には由良川改修に伴って河口付近にマリナー大栄があり、中部漁協の組合員さんをはじめ多くの方が船を係留されています。以前、海・ボートに関心を持ってもらうという目的で、マリナー大栄主催で魚釣り大会等イベントを実施したところであり、大変好評でありました。また、今年度より遊漁船の許可を得た会員さんもあり、船に乗って魚釣り等ができる体験が可能になっているところでもありますので、そういうものを利用しながら海に興味を持ち、そして魚に興味を持っていただければと思っています。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 長田議員の御質問にお答えいたします。

育英高校の生徒が作成した北栄町沿岸、身近で捕れた魚の図鑑を、町内の小学校に配布し地域学習に利用してもらっては、についての御質問です。

私からは、小・中学校、図書館への配架と、学校給食での積極的な活用についてお答えをいたします。

魚の図鑑が完成すれば、小・中学校、図書館にぜひとも配架していきたいと考えています。小・中学生、町民の皆さんに、育英高校の生徒の皆さんが地域探究の授業を通して作り上げたものであることをしっかりPRしたいと思います。また、北栄町沿岸にはこんな魚がいるということを知っていただける機会にもなると思います。

学校給食については、既に近海で捕れた魚を学校給食に提供しています。近海で捕れた特徴的な魚を使用する時には、そのことをPRできたらと思います。

長田議員が、身近な地域の関心・興味を持てることに積極的に参加し、学ばれたことはとてもよいことだと思います。魚の図鑑作成が後輩の皆さんに引き継がれ完成することを期待しています。

○議員（6番 長田 聖矢君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、長田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 7番、福永優議員、丸山智子議員。

○議員（7番 福永 優君、丸山 智子君） 7番、福永優です。丸山智子です。

○議員（7番 福永 優君） 私たちは、地域の方々が楽しめる複合施設を北栄町にも造っては、について教育長に質問します。

私たちは琴浦町にある「まなびタウンとうはく」について調べて、ワークショップにも参加させていただきました。そこで地域の方々や複合施設を建設している方々の話を聞いて、新しい図書館の在り方を知ることができました。図書館という固定概念をなくし、新たな図書館の形をつくってみてはいかがでしょうか。誰もが見やすく取りやすい高さの本棚。書籍を図書館一つの場所に限定せず、カフェや休憩場所などに設置することでちょっとした時間に気軽に本を手にとれる環境がつかれると思います。地域の方々が集まって趣味を楽しめるような複合施設を北栄町にも造ってみてはどうでしょうか。地域の方々の交流の場、出会いの場、居場所をつくる機会になると思います。以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 福永議員、丸山議員の御質問にお答えいたします。

地域の方々が楽しめる複合施設を北栄町にも造っては、についての御質問でございます。

両議員が、新しい図書館の在り方について琴浦町のまなびタウンとうはくについて調べられて今日の質問をいただきました。現在、北栄町では中央公民館大栄分館の建て替えについて、昨年度行いました「中央公民館大栄分館施設のあり方検討会」の答申において、議員御指摘の「地域の方々が楽しみ、交流の場、出会いの場、居場所となるような複合施設を、図書館を含めて検討するように」という意見をいただいたところです。現在、どの施設と一緒にすればよいか、どこに建て替えればよいか、町民が楽しめるとは、について公共施設等総合管理計画などや財政問題、環境問題にも考慮しながら検討を進めています。議員の意見はとても大切な視点だと思いますので、今後の検討の参考にさせていただきたいと思います。

○議長（北中 佑介君） 丸山議員。

○議員（7番 丸山 智子君） 追及質問をさせていただきます。

山陰道開通の計画に合わせて、北栄町にある今は使われていない土地を活用して新しい施設を開設されるのはどうでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 今、山陰道の開通に合わせてというような提案をいただきました。

ただ、山陰道の開通はまだまだ先の話だと思いますので、私としましては、もう少し早く建設ができればと考えているところです。ただ、町の財政問題であったり、いろいろなものの検討をする中で決定していくことだと思いますので、福永議員、丸山議員の提案も含めて建設に当たっての検討ということにさせていただけたらと思います。

○議員（7番 丸山 智子君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、福永議員、丸山議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 8番、川原那央議員、佐古悟乃亮議員。

○議員（8番 川原 那央君、佐古 悟乃亮君） 8番、川原那央です。佐古悟乃亮です。

○議員（8番 川原 那央君） 北栄町で、今後必ずはやるであろうeスポーツを盛り上げてみては、という質問を教育長にします。

僕たちは、今年のeスポーツ国体のウイニングイレブン部門鳥取県大会で優勝し、中国大会でも優勝して、全国大会に出場しました。全国大会では8位に入賞することができました。

eスポーツの人口はどんどん増えており今後間違いなく注目を集める分野です。全国の自治体は、まだこの分野を町おこしに活用できていない状況だと思います。今がチャンスです。eスポーツに関連したイベントなどをたくさん開催して、北栄町のPRにつなげてみてはどうでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 川原議員、佐古議員の御質問にお答えいたします。

北栄町で、今後必ずはやるであろうeスポーツを盛り上げてみては、についての御質問でご

ざいます。

まずは、全国都道府県対抗eスポーツ選手権の「eFootball ウイニングイレブン 2021」鳥取県大会、中国大会で優勝しての全国大会出場、誠にありがとうございます。決勝トーナメントにおいては8位入賞ということで、大変素晴らしい成績だったと思います。とてもうれしく思うところでございます。今後も「鳥取中央育英高校、ここにあり！」と全国に名をとどろかせていただければ、地域の方々も喜ばれ、こども達の憧れの存在になると思います。

議員がおっしゃるとおり、現在、eスポーツを町おこしに活用されている自治体は、富山県高岡市や北海道旭川市などまだまだ少ない状況にあります。一部では既に地域活性化の核事業として取り組まれている事例も見受けられます。eスポーツを町の活性化に活用するという視点は、若者に注目を浴びるという点においてはよい視点だと思います。新しいことに取り組む時の大切なポイントとしては、そのことに一生懸命取り組んでいる方々とともに一緒に進めることです。eスポーツで、町としてどんな取組、イベントをしたらよいか、いい提案がありましたらどんどん提案していただければと思います。

ぜひとも皆さんがよりいっそう活躍し、我が町と、鳥取中央育英高校を誇りにしていただき、「ともにeスポーツで地域を盛り上げましょう」と声をかけていただける日が来ることを楽しみにしています。

○議長（北中 佑介君） 川原議員。

○議員（8番 川原 那央君） 追及質問をさせていただきます。

大会を開いてみてはどうでしょうか。大会を開く上で、屋内会場が必要で、鳥取県にeスポーツ協会というものがあります。そのようなところに協力してもらい、大会をする上でスポンサー等もつけることができます。そして開いた際には、会場で北栄町の特産品を使った料理などを出品してみてもどうでしょうか。そうすることで北栄町をPRすることができ、間違いなく今後どんどんはやってくると思います。町長含め、前向きに考えてみてもらいたいです。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 大変素晴らしい提案をいただきました。高校生の皆さん、eスポーツというものに大変親しんでされていると思いますけれども、いかんせん、私がまだそのことに対して十分な知識を有していないところであります。先ほど提案のありました、eスポーツの大会がどういう大会なのか、どうやったらできるのかというところは、eスポーツ協会等とも御相談させていただきながらちょっと検討してみたいと思います。

そういう大会で全国、世界から多くの方に来ていただける機会ができれば、町の特産品とかそういうものがPR、そして販売ができるということで、町としても非常によいことだと思いますので、まずは研究をさせていただければと思います。よろしく申し上げます。

○議員（8番 川原 那央君） 以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、川原議員、佐古議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 9番、前田愛菜議員。

○議員（9番 前田 愛菜君） 9番、前田愛菜です。私は、北栄町でチャレンジショップをして

みてはどうか、について町長に質問します。

コナンで観光客が多い北栄町ですが、駅から青山剛昌ふるさと館までの間に空き家・空き店舗が幾つかあると思います。同じように、境港の水木しげるロードにも空き店舗が幾つかあるのですが、観光客の増加に伴い空き店舗はすぐに埋まっているそうです。観光客が多いという点では北栄町も同じだと思うのですが、北栄町の空き店舗がそのままなのはなぜでしょうか。

また倉吉や鳥取、米子のように、北栄町でもチャレンジショップをしてみませんか。例えば、駅前のガソリンスタンドを北栄町が借り、きれいにリフォームしてチャレンジショップとしてホームページなどでPRを行い、店を出したい人に呼びかけをします。そうすることで、北栄町の空き家・空き店舗も埋まっていくのではないのでしょうか。以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 前田議員の御質問にお答えいたします。

北栄町でチャレンジショップをしてみても、との御質問です。

初めに、町内の空き店舗がそのままなのはなぜかとの御質問です。現在、由良宿の空き店舗の多くは、所有者の住居を兼ねている場合が多く、住居の一部である空き店舗部分を切り離して他者に貸し出すことができる物件が少ないことが上げられます。空き店舗部分を借り受けて事業を行うことは、住居として使用している所有者の理解が得られなければならないということがあります。

その中で今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により取組を進めることができませんでしたが、来年度以降、町商工会と連携し由良宿商店通り周辺の空き店舗について調査を行い、所有者の同意を得ながら貸出しが可能な物件情報を集約した「空き店舗バンク（仮称）」を開設してホームページ等で広く周知するほか、北栄町で創業・出店を目指す方と所有者との橋渡しをスピーディーに行えるよう、創業支援制度の取組をさらに進めてまいりたいと考えております。

次に、チャレンジショップに取り組んでどうか、との御提案です。創業・出店を目指す方にとって、議員御提案のようなチャレンジショップの手法は、初期投資も安価で創業・出店の間口を広げるよい方法だと考えております。一方で、実際にチャレンジショップに取り組んでおられる他市町の事例を伺いますと、あくまでもお試し期間の出店のため将来にわたっての継続的な事業につながっていないケースも多々見受けられているところです。本町といたしましては、現在のところチャレンジショップに取り組むことは考えていませんが、皆さんがどうしてもやりたいということであれば考えてみたいと思います。

現状としては、地域に根差して事業継続を目指す方への支援策として、本町独自に「由良宿まちづくり活性化支援事業」を設けているところです。この創業支援制度は、由良宿周辺で新たに創業する方または出店する方を対象に、店舗改修費の2分の1、上限最大200万円を支援するほか、ホームページの開設など出店に係るPR費の2分の1、上限50万円を支援するもので、費用負担を軽減することで出店の機運を後押しするものです。先に申しあげました「空き店舗バンク」と、「由良宿まちづくり活性化支援事業」をうまく活用していただき、空き家・空き店舗の有効活用につなげていければと考えているところであります。高校生の皆さんにおかれましても、「将来お店を出店したい」「自分で事業を創業してみたい」ということがありましたら、支援制度が充実している北栄町でぜひ創業していただきたいと考えているところであります。



ます。

○議長（北中 佑介君） 前田議員。

○議員（9番 前田 愛菜君） 追及質問をさせていただきます。

私は、北栄町でチャレンジショップをすることでもっと町が活性化したいと思います。北栄町でチャレンジショップをやってみたいと思う人をたくさん集めるために、ホームページだけでなくいろんな SNS やポスターなどで宣伝するのはどうですか。また、SNS を多く利用している若者の目に留まれば、チャレンジショップに興味を持ってもらい出店してもらえるのではないのでしょうか。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） そうやってたくさんの方がそのチャレンジショップを利用してやりたいということであれば、考える必要があると思っています。そうすることによって町の活性化につながるだろうと思っておりますので、どういう形でこういうことができるのかも検討しながら今後考えていきたいと思っています。

○議員（9番 前田 愛菜君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、前田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 10番、磯江裕行議員。

○議員（10番 磯江 裕行君） 10番、磯江裕行です。僕は、自給自足のできる家を造って、誰でも体験できるようにしては、について町長に質問します。

僕たちは、北栄町で自給自足をする田舎暮らしについて話し合ってきました。北栄町は自然豊かで自給自足にとっても適した町です。しかし自給自足をして暮らしている人は、町内にも、全国的にも少ないのではないのでしょうか。

そこで、自給自足のできる家を町内に建て誰でも体験できる場所・観光施設を造りたいと考えました。そうすれば、町内の方々にとっては自分たちの町のよさを再確認できます。外の方々にとっては、田舎で自給自足をして暮らすことの楽しさを実感し実際に北栄町で暮らしたいと考え、自然豊かなこの北栄町に住みたいという人が出てきてそれもまた移住定住につながるのではないのでしょうか。以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 磯江議員の御質問にお答えいたします。

自給自足のできる家を造って誰でも体験できるようにしてはどうか、についての御質問です。

町内に自給自足のできる体験施設を造ることで移住定住につながるのではないかとのございますが、議員も仰せのとおり、自給自足をして暮らしている人は全国的にも少ないと思いますので体験施設のニーズも少ないと考えています。このため、北栄町としては自給自足できる体験施設を整備することは現在のところ考えていません。

なお、北栄町では妻波地区に「おためし住宅」という体験施設を設けており、移住を検討されている方に町内で実際に生活していただきながら移住に向けた体験などをしていただいているところです。また、希望があれば町内の農家と連携し農業体験も可能としていますし、鳥取

県立農業大学校などでも就農体験研修等を行っていますので、自給自足体験ではなく、まずはそういった体験から始めていただき、北栄町で暮らすことの楽しさの発見や、北栄町に住みたいと思っただけのよう移住相談会でのPRなどの取組を進めているところです。

○議長（北中 佑介君） 磯江議員。

○議員（10番 磯江 裕行君） 追及質問をさせていただきます。

今、妻波地区などに体験できる施設があると聞きましたが、全国的にはこのPRはどのように行われていますか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） これは、町のホームページ等で全国にPRしている。それから、移住相談会等に行って「まずは、そういうところで体験してみてもいいですか」というような案内をしているということです。

○議員（10番 磯江 裕行君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、磯江議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 11番、兼光莉鈴議員。

○議員（11番 兼光 莉鈴君） 11番、兼光莉鈴です。スイカ販売用の箱にコナンのイラストをつけてはどうか、について町長に質問します。

大栄西瓜をもっと全国的に広めていきたいと思っています。すいか・ながいも健康マラソン大会で夏味ちゃんの箱に入れたスイカを配ったりしてPRもしているけれど、県内のPRにとどまっていると思いました。だから、コナンのついた箱でスイカを売れば、コナンファンもそこでしかコナンの箱に入った大栄西瓜が買えない、手に入らないと思ってそれを求めてたくさんの方が北栄町に来ると思いましたが、町長の考えをお伺いします。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 兼光議員の御質問にお答えいたします。

スイカ販売用の箱にコナンのイラストをつけてはどうか、との御質問です。

初めに、議員から「すいか・ながいも健康マラソン大会でコナンの箱に入れたスイカを配っている」とありましたが、マラソン大会において、スイカの箱に「名探偵コナン」のイラストを活用していないことをまずお断りしておきます。

スイカ販売用の箱に名探偵コナンを使用するためには、小学館集英社プロダクションという著作権を管理する会社と話し合う必要がございます。そして使用できるようになると、許諾された内容に対する率は様々ではございますが、売上などに対してロイヤリティ、いわゆる著作権に対する使用料がかかります。過去には、コナンのイラスト入りラベルを大栄西瓜に付けて販売したこともありましたが、費用がかかる割に販売増にはつながらなかったこともあり、コナンの使用については慎重に検討する必要があると考えています。

また、都市部での大栄西瓜の販売は、家族構成が少人数化していることもあり4分の1から8分の1のカット売りが主流になりつつあります。1~2玉入りの箱売りが少なくなっている中で、使用料のかかるコナンのイラストを箱に使用するのは費用対効果が見いだせるか不透明な

ところもあります。確かに、私もコナンのイラストのついた箱は見てみたいですが、申し上げました理由などからなかなか難しいのではないかと思います。

昨年は、コロナ禍にあっても大栄西瓜は21億円の販売を達成したところであります。その魅力は、大玉で皮の近くまで甘く、シャリ感があるといった特徴を持っております。これをさらに磨き上げ多くのファンを獲得していくことがよいように思いますので、すいか・ながいもマラソン大会や、関西圏の量販店での試食販売などの有効な場面を活用して大栄西瓜の魅力をお届けし、全国にその輪を広げていくようにしていきたいと考えているところであります。

○議長（北中 佑介君） 兼光議員。

○議員（11番 兼光 莉鈴君） 先ほど町長が言われたように、すいか・ながいも健康マラソン大会で「コナンの箱に入れたスイカを配った」というところですが、そちらを「夏味ちゃんの箱に入れたスイカを配った」と変更して言わせていただきました。また、1年で終わってしまったということですが、過去には町内のAコープ、道の駅の直販売店など様々な場所で販売していたという新聞記事を見ました。

青山剛昌ふるさと館は、お土産を買っていく人が多く子どもたちの目にも一番つく場所なので、青山剛昌ふるさと館限定で、1日に数個限定で販売したらよいのではと考えています。過去に支払った140万円以下の予算で抑えることができ、大栄西瓜のPRとともにコナンのまちの話題づくりにもなります。また、観光客の間でもふるさと館でしか買えない数量限定商品が話題になり、買い求めてくる人が増えれば安定していきます。徐々に安定した頃に個数を増やしていけば、農家の人たちの不満の声にも対応できコストも抑えられるので、もう一度試みてはどうでしょうか。以上です。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 夏味ちゃんを使ってはどうかということではありますが、夏味ちゃんはスイカのマスケットキャラクターでございますので、これは十分できるだろうと思っております。これは協議会等にお話をしてみたいと思っております。販売に行く時にも、今は夏味ちゃんのハンカチタオルを持って行ってこれを販売PRにしていますので、箱にもつくということになればさらに大栄西瓜がPRできるものと思っております。

それから、ふるさと館でということがありました。これにつきましては、ふるさと館で販売している業者がありますが、そこに話をしてみたいなと思っております。ただ、生ものでございますし、なかなか長い間日もちがしないということがありますのでどうなるか分かりませんが、こういう提案があったということでお話をさせていただいて、コナンのPR、町のPR、そしてスイカのPRができればと思いますのでよろしくお願ひします。

○議員（11番 兼光 莉鈴君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、兼光議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 12番、堀本光雪議員。

○議員（12番 堀本 光雪君） 12番、堀本光雪です。北栄町の特産品を使って珍しい商品を作ってみては、について町長に質問します。

北栄町にはたくさんの特産品があります。それを普通に売るのではなく、珍しい商品を作ることで注目を集め、観光客を集めてはどうでしょうか。地元の人たちは知っているかもしれませんが、意外とほかの人たちは知らないという物があるかもしれません。

珍しい商品について具体的に考えてみました。1つ目に「イチゴモンブラン」、2つ目に「スイカチョコクッキー」、3つ目に「長いもせんべい」、4つ目に「長いもトルコアイス」です。以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 堀本議員の御質問にお答えいたします。

北栄町の特産品を使って珍しい商品を作ってはどうかとの御提案です。

議員御承知のとおり、北栄町は「農業のまち」としてスイカ、ナガイモ、ブドウなど数多くの特産品があります。これらを活用して、他にはない特徴的な商品を開発し注目度を上げていくことは、本町のPRと集客につながる有効な手法であると考えております。

現在、道の駅「北条公園」の再整備を進めているところですが、施設のリニューアルはもちろんのこと、議員仰せのような北栄町の農産物を活用した特徴的な加工品を開発して、広く発信する拠点となる仕掛けづくりを行っているところであります。道の駅「北条公園」令和7年度のオープンに向けて準備をしていますので、楽しみにしていただけたいと思います。

また、議員におかれましては、本町の農産物を活用した商品を御提案いただき感謝申し上げます。

「イチゴモンブラン」につきましては本町の新たな農産物であるイチゴに焦点を当てたアイデアだと思います。今年度の地域探究の時間において、北栄ドリーム農場のイチゴを活用したイチゴシフォンケーキを鳥取中央育英高校の皆さんに御提案いただき、大山乳業とコラボして開発していただきました。1月下旬販売と伺っておりますので、非常に楽しみにしているところです。

「スイカチョコクッキー」につきましても面白い発想だと思います。ただ、スイカの風味がチョコに勝てるかどうか、開発に工夫が必要かとも思います。見た目のインパクトで勝負するのもありかなとは思っているところです。

「長いもせんべい」「長いもトルコアイス」につきましても本町の代表的な農産物を活用した商品だと思いますが、既に「ねばりっこチップス」「ねばりっこソフト」が商品化され販売されていますので、まず一度賞味をしていただければと思います。

いずれにいたしましても、高校生の皆さんの若いアイデアはヒット商品を生み出す可能性が大いにあると考えております。今後も地域探究の時間をはじめとして、北栄町が持つ魅力を研究していただき、積極的な御提案をしていただければと考えているところです。

○議長（北中 佑介君） 堀本議員。

○議員（12番 堀本 光雪君） もし、商品を作って売るとした場合、売る場所はありますか。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） やはり商品を作っても売り先がないとどうにもなりませんので、こういうことも大変大事だろうと思っています。先ほど言いましたシフォンケーキにつきましては、この1月下旬にローソンさんで発売だと伺っており、1月20日に発表会をするようにしているところです。いろいろな商品開発をしていただいて、その売り場というのも大変重要になるわ

けであります、先ほど言いました道の駅で販売したり、あるいはコラボした会社と一緒にあってまた違ったところ、全国チェーンで発売できるところもあると思いますので、どんどんしていただければと思っているところでもあります。

○議員（12番 堀本 光雪君） 分かりました。ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、堀本議員の一般質問を終わります。  
次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 13番、濱川虎彦議員。

○議員（13番 濱川 虎彦君） 13番、濱川虎彦です。空き家を貸し出し定住につなげては、について町長に質問します。

北栄町は観光客が多いのに目立った宿泊施設がありません。それはもったいないと思ったので、空き家をお試しとして貸し出すのはどうですか。お試しによって、ここに住みたいなど様々な魅力を感じることができよいチャンスになると思います。空き家をお試しとして貸し出し定住につなげれば、人口増加につながると思うので、空き家をお試しとして貸し出すのはどうでしょうか。以上で終わります。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 濱川議員の御質問にお答えいたします。

空き家をお試しとして貸し出し定住につなげてはどうか、についての御質問です。

町内の空き家をお試しとして貸し出し、町の魅力を感じてもらうことで定住につながるのではないかとのことですが、北栄町では、先ほど申し上げましたが、妻波地区に空き家を譲り受けリフォームした「おためし住宅」という体験施設を平成27年度に設置しており、移住を検討されている方にその施設を格安で貸出ししています。北栄町で実際に生活していただくことで、町の気候や風土を知っていただいたり、地元の人と交流をしたり、働く場所や住む場所を探したり、移住に向けた拠点としていただいているところです。

現在のおためし住宅を引き続き活用し、北栄町の魅力発信を行って定住につなげてまいりたいと考えているところです。

○議長（北中 佑介君） 濱川議員。

○議員（13番 濱川 虎彦君） 追及質問をさせていただきます。

新たにお試し住宅を3~4軒造り、候補を増やすというのはどうでしょうか。

○議長（北中 佑介君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 実は今、コロナでお試し住宅を閉めているところですが、実はあまり、正直申し上げまして利用が少ないということでもあります。これは、隣の町にも聞いてみましたがやはり少ないということでございまして、なかなかこのお試し住宅を使っただけの移住定住に至っていないというのが現状だということでもあります。何とか来ていただいて、いいところを見つけていただいて定住をしていただきたいと思いますと思っているところでもあります。

また、空き家につきましてもたくさんあるわけですが、それを持ち主の方は売りたいという方もあります。そのほうがかなりあります。そして来る人は借りたいということで、売りたい、

借りたいということでミスマッチが起こっておりまして、そういうことも1つ大きな問題があるところなんです。

北栄町も、実はこの前、宝島社というところが「住みたい田舎ベストランキング」というのを発表しているところですが、なんと、北栄町が総合で10位に入っておりまして、北栄町のそういう田舎暮らしの魅力というものがかなり認知されてきたかなと思っているところなんです。そういうものを活用しながら移住定住を進めていければと思っているところです。

○議員（13番 濱川 虎彦君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（北中 佑介君） 以上で、濱川議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

---

○議長（北中 佑介君） 14番、西村武蔵議員、影井航世議員。

○議員（14番 影井 航世君、西村 武蔵君） 14番、影井航世です。西村武蔵です。

○議員（14番 影井 航世君） 太鼓で地域の魅力を県外や国外へ発信する、について教育長に質問します。

北栄町のオリジナル曲を僕たち高校生と打吹太鼓の皆さんで作って、演奏してみてもどうでしょうか。その動画を町のPR動画として配信し、観光施設等のイベントでも演奏して、高校生が元気に活躍する町であることをアピールするのはどうでしょうか。これで終わります。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 西村議員、影井議員の御質問にお答えいたします。

太鼓で地域の魅力を県外や国外に発信する、についての御質問です。

北栄町では2年前、長らく活動を停滞していた「北条砂丘太鼓」が復活し、サークル活動が始まり北条ふるさとまつりや北栄文化回廊で発表したり、町のフェイスブックやYouTube公開用の録画イベント等で演奏されるようになりました。小学生を中心に組み込まれてきました「くろぼく太鼓」は、活動休止中となっています。北条砂丘、くろぼくの大地が、現在の北栄町をつくり、北栄町民を育てています。このことを大切に、太鼓がさらに魅力的なものになっていくことを願います。

太鼓に関心を持っていただいた両議員には、卒業後に、現在ある北条砂丘太鼓やくろぼく太鼓にぜひとも関わっていただき、共に盛り上げていただければと思います。町といたしましては、今ある太鼓の取組を盛り上げていく、高校にはオリジナル曲を作り演奏を引き継いでいただくなどして、お互いににぎわいを作っていけたらと思います。そのときには、全面的に協力したいと考えています。

○議長（北中 佑介君） 西村議員。

○議員（14番 西村 武蔵君） 追及質問をさせていただきます。

今言った質問の中で、そういった支援がありますか。

○議長（北中 佑介君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） オリジナル曲を作るということに対して高校がどのように取り組まれるかということにもよるかと思いますが、そのオリジナル曲を作るときに作曲家の方、曲を作る方との橋渡しをしたり、何らかの形で支援ができればと考えているところでございます。

- 議員（14番 西村 武蔵君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。
- 議長（北中 佑介君） 以上で、西村議員、影井議員の一般質問を終わります。

- 
- 議長（北中 佑介君） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。  
これにて、令和2年度北栄町高校生議会を閉会します。

午前10時59分閉会

---

#### 高校生議長あいさつ

- 議長（北中 佑介君） 初めての体験で緊張しましたが、大きな声ではっきりと発言できてよかったと思います。また、活発に意見交換が行われるとてもよい議会になったと思います。この議会で得たものを学校に持ち帰り、高校生の考え方で今後の北栄町の活性化のためにできることを考え、意見の提案をしていきたいと思っています。どうもありがとうございました。
-

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

高校生議会議長

---

署名議員

---

署名議員

---